

支出項目		広報費				
NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品 目	支 出 先		領 収 書 番 号	支 払 明 細 書 番 号
1	4月24日	会派日本共産党弘前市議団だより 4月28日(第36号)発行、15,000部作成 印刷・ポスティング料	サンキョウ企画出版	404,250	1	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
月 小 計				404,250		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領収書番号	1
---------	-------	-------	---

領 収 証

弘前市議会会派日本共産党

様



★ ¥404,250-

内 訳

現金

小切手

手 形

但弘前市議会だより第36号印刷、ポスティング料

令和7年4月24日 上記正に領収いたしました

消費税額等 ( % )

コクヨ ウケ-98

サンキュウ企画出版

代表 田 邊 繁 美

〒036-8242 弘前市大原二丁目3-3

TEL/FAX:0172-88-3341

支出目的・内容

会派日本共産党弘前市議団だより (第36号) に係る印刷・ポスティング料

備 考

発行月日：令和7年4月28日

作成部数：15,000部

成果品1部添付

請求書

令和7年4月24日

No. \_\_\_\_\_

弘前市議会 会派 日本共産党 様

サンキュウ企画出版

代表 田邊 繁美

〒036-8242 弘前市大原二丁目3-3

TEL/FAX:0172-88-3341

登録番号7-8105-7538-6956

下記のとおり御請求申し上げます

品名	数量	単価	金額(税抜・税込)	税率(%)	摘要
1 弘前市議会だより 第36号	15,000部	19	285,000		
2 〃 ポスティング料	15,000部	5.50	82,500		
3					
4					
5					
6					
7					
税率 10%	消費税額等	36,750	合計(税抜・税込) 367,500		
税率 %	消費税額等		合計(税抜・税込) 404,250		

税込合計金額 ￥404,250

# 会派日本共産党 弘前市議団だより

第36号

2025年4月28日

発行:日本共産党弘前市議団  
住所 弘前市上白銀1-1  
代表 千葉浩規 TEL・FAX 88-6551

## 市民の声を議会に届け、全力で頑張ります 誰もが安心して暮らせる弘前へ



下乗橋から修理が完了した弘前城石垣の状況を確認する党市議団の三浦こう市議、千葉こうき市議、すとうえりか市議 (令和7年4月5日撮影)

### 3月議会が開催 2月21日～3月21日

令和7年第1回弘前市議会定例会(3月議会)は、2月21日から3月21日まで、開かれました。

櫻田市長からは、令和7年度弘前市一般会計予算をはじめ76件の議案が提出されました。日本共産党市議団は、これら議案のうち、弘前市一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、水道事業会計予算、マイナンバーの利用範囲を広める条例案、弘前市乳児等通園支援事業に関する基準を定める条例案、弘前市宿泊税条

例案の6件では討論も行い反対。介護保険特別会計予算、下水道会計予算、弘前市税条例の一部を改正する条例案の3件に反対の態度をとり、残る議案は賛成しました。また、議員提出議案に賛成。「弘前市宿泊税条例(案)」に関する「請願」では、討論を行い、賛成しました。

今回の「弘前市議団だより」では、2面から4面にかけて、三浦こう・すとうえりか・千葉こうきの各市議の記事を掲載しています。

### 3月議会での予算決算常任委員会 一般会計、国保特別会計、水道事業会計の 各予算の反対討論の概要をお知らせします

#### 一般会計予算

#### 千葉こうき市議

第一は、自治体システムの「標準化」移行等、地方自治体に悪政を押し付ける国・政府いいなりの予算編成であるから。

第二は、県内外からの宿泊者にあまねく課税する宿泊税導入を推し進める予算が含まれているから。

第三は、除排雪経費が燃料費や人件費が高騰する中においても、据え置かれていくから。委員会質疑の中で、除排雪経費が29%増加との答弁でしたが、

予算は据え置きのまま。経費高騰分の増額を求めました。

第四は、「次世代医療基盤法に基づく医療情報提供」など市民の個人情報保護対策が脆弱であるから。

「メタバリックシンドローム予防・改善事業業務」、「産業用地適地選定調査業務」、「図書システム更新業務」等の新規事業については厳しくチェックしていくとしました。

#### 国保特別会計予算

#### すとうえりか市議

本予算は国民健康保険証の発行を廃止する予算であるから反対。任意であるマイナンバーカードを事実上強制する保険証の廃止にはこれまでも反

対してきた。今もマイナ保険証をめぐるトラブルが続出。また、自治体の負担を増やしただけではないか。

#### 水道事業会計予算

#### 三浦こう市議

本予算は市民に水道料金の値上げを強いる予算なので反対。今回の値上げは、水道事業の本来の目的である「公共の福祉の増進」に矛盾している。水

道事業の困難をもたらしている人口減は、国の政治によるものであり、責任が無い市民に負担を強いる値上げだから。



# 三浦こう市議会議員



## 拙速な宿泊税条例制定。市民にも事業者にも、市の説明責任が果たされていない。

三浦こう市議は3月議会の一般質問で、①「水田活用の直接支払交付金」の要件緩和 ②豪雪の中の除排雪 ③農業の雪害対策 ④宿泊税について質問しました。

### 拙速に提案された

#### 宿泊税条例案

三浦市議は、市の宿泊税条例案提出が、なぜ予定より遅れたのか質問し、市は「条例制定に当たって、罰則規定を設ける場合は検察庁との協議が必要となり、検察協議に想定以上の時間を要したため追加提案となった」と答弁しました。

三浦市議は「他の議員の一般質問で、県外も含む小中高生の教育に係る宿泊に、宿泊税を免除するというルール変更を設けたと聞いたが、条例案も変更されたのか？」と質問。市は「総務省との事前協議で公平性を考えて条例案を変更した」と答弁しました。

### 宿泊事業者への説明責任果たさず見切り発車

三浦市議の所属する経済文教委員会で、宿泊税が議論されたのは、最初に宿泊税検討委員会を設置するときだけでした。その後の宿泊事業者への説明会も3回だけです。

「しかし新しい条例、しかも税金ができるかどうかという重大なところ。罰則ルールも含めて宿泊事業者にもう一度説明会を行う考えはあるか」と三浦市議は質問。

市は「条例案が可決・成立後、事務手続きや罰則規定、システム整備等補助金や交付金など事務負担を軽減する制度についても説明を行う」と答弁しました。

三浦市議は「条例を通してから説明するというのは、順番が違う」と訴えました。

しかし「宿泊税」を課す市条例は総務常任委員会で審議後、21日、本議会で賛成多数により可決、成立しました。

### 水張りルール撤回を確認

三浦市議は「水田活用交付金」の米転作農家を苦しめた「水張りルール」見直しについて質問。市は「令和9年度以降は水張りルールを廃止、令和7・8年度に連作障害を回避する取組をすれば、水張りをしなくても交付対象になる」と答弁しました。

### 市民要望に応える除排雪を

弘前市民は今冬の大雪に大変苦しめられました。積雪量は観測史上最多、業者さんも福祉部門も手一杯、電車が止まったり車の渋滞で交通の足も混乱しました。

三浦市議は各地域で市民要望箇所の排雪が遅れ、なかなか生活道路に手が回らなかつた実情を訴え、除排雪体制の維持に欠かせないオペレーター確保など、除排雪業者さんへのさらなる支援と連携を要望しました。

弘前市には2回にわたり災害救助法が適用され、高齢者・障がい者・生活困窮者への屋根雪の除去等が助成されました。

三浦市議は救助法が適用されない場合でも、市独自の幅広い市民への経済的負担を軽減できる制度を求めました。



幅広い市民への経済的負担を軽減できる制度を求めました。

### 農業の雪害対策を質問

今冬の豪雪ではりんご農家への被害も甚大でした。2月、党県議団らと共に、三浦市議は仙台市の農政局を訪問し、農業用ハウスの倒壊やりんごの木を幹割れ・枝折れで10本に1本以上の被害がある現状を訴え、雪害対策への支援を申し入れました。

それを力に三浦市議は、市の農業雪害対策の取組みについて質問しました。

市は幹線農道除雪を1ヶ月前倒して行い、生産者や団体の農道除雪の補助金を3分の2に引き上げたほか、融雪剤と塗布剤購入へ助成を行っている」と答弁しました。

質問の最後に三浦市議は、苗木の補植等、生産への対策と支援を県と国に求めることと、市独自の支援も要望しました。

本議会の最終日に補正予算で「農業用ハウス等雪害復旧緊急対策補助金（国県支出金）」と「雪害対策りんご園地等再生事業費補助金（市一般財源）」が可決・成立しました。



# すとうえりか 市議会議員

## 子どもたちの安全確保を第一に!

### スクールバス利用拡充と、校内の雪対策を求める!



すとう市議は、今回の一般質問で、5項目の質疑を行いましたので、一部をご紹介します。

#### 通学の安全対策について

すとう市議が令和6年度第2回定例会（昨年6月）でスクールバスについて質問した以降、昨年8月末頃から裾野地区の中学生もスクールバス利用が可能となり、地域の方々に大変喜ばれています。そこで、すとう市議は、これまでの経緯と、実績について質問。

市教委は、8月28日から中学生も乗車できることとした経緯について、令和6年度、裾野中学校から、裾野小・中学校周辺で熊の出没により生徒の登下校にお

ける安全面に関して相談を受けた他、学校運営協議会からも要望があったことを説明。さらに、児童の平均乗車率と中学生の乗車希望もバスの定員内で運行可能であったと説明しました。

その一方で、「中学生のスクールバス乗車は、熊対策の一環として緊急的に行った対応策であり、熊の冬眠時期を考慮し2学期が終了する12月23日までの暫定的な措置としたものである」と答弁しました。

#### 学校施設の安全管理について

すとう市議は、卒業式を間近に控えた2月中旬、裾野中学校敷地内の雪が大変な状況となっていると伺い現地を調査。校舎周囲は雪に埋もれ、1階の教室は外の光があまり入らず暗く、校内の数か所ある非常口も、雪で塞がっている状況でした。

このことを受け、すとう市議は、裾野中学校だけではなく、市内全体の学校でも、同様の状況が発生していることを危惧し、今冬の豪雪による学校側からの要望について質問。  
市は、「2月20日時点で、学校から100件の要望が寄せられており、順次対応して

いるが、残り15件が未対応である」と答弁。

#### 子ども達の、いのち最優先の対応を

裾野中学校の現状を踏まえると、災害等があった際は、生徒が安全に外に出られない状況が長期間続いたことは非常に危険であり、それと同時に、学校は災害時の避難指定場所にもなっている為、その機能が果たせなければ大変なことになる。すとう市議は、「異常気象が続く中で、何が起るかわからない状況をしっかりと認識し、スピード感をもった対応を。」と強く求めました。

#### 利用者の声を大切にしたい取り組みを

この答弁を受け、すとう市議は、「乗り場の見直しや、時間変更への要望もあると伺っている。豪雪地域であることを考慮し期限付きの対応ではなく、通年利用ができるようにしてほしい」と、強く求めました。



#### 今回の一般質問内容

- ① 通学の安全対策について
- ② 学校施設の安全管理について
- ③ 空き家対策について
- ④ 集会所について
- ⑤ 介護保険について



↑一般質問の様子はこちら。

千葉こうき 市議会議員

# チャンスを生かして 中心市街地の賑わい創出を



千葉こうき市議は、今議会の一般質問で中心市街地の賑わい創出に向け、5項目質疑を行いましたので、その概要をお知らせします。

## 令和8年、弘前城天守の曳戻し

千葉市議は天守の耐震化工事について質問。市は令和8年度は天守を曳戻し、令和10年度から天守自体の耐震化と保存修理工事に着手。「天守台石垣前に大規模な作業構台を設置し、この作業構台の上に天守全体を覆う素屋根が設置される」と答弁。その工事は5年ほど要する可能性も。さくらまつり期間中に石垣上の天守を見ることが可能なのは、令和9年と10年の一瞬ということ。

こうしたことからも、令和8年の天守曳戻し、令和9年のさくらまつりは極めて貴重なイベントとなります。

## 令和8年、国スポ・障スポ開催に8万7千人

49年ぶりとなる国スポ・障スポは令和8年9月・10月に開催されます。当市で開催される競技会への来訪者数について、市は「約8万7千人を見込んでいます」とし、「心に残る素晴らしい大会となるよう」万全の準備を進めると答弁しました。

## 令和9年、健康づくりのまちなか拠点供用開始へ

市では、令和9年度の供用開始を目指して、旧市立病院は複合施設として、旧第一大成小学校跡地は、日常的な運動や憩いの場や駐車場等として整備を進めています。

「中心市街地の賑わい創出に繋げていくための取組は」との千葉市議の質問に、市は

「様々な人や関係機関を巻き込んだ取組が不可欠。そのためには、整備段階から主体的に関わってもらう人や関係機関を増やしていく」と答弁しました。



## 令和8年・9年に向けての中心商店街の魅力発信

市は、Instagram アカウン「ひろさき散歩」を開設し、中心市街地の食・景観・アートなどの魅力やイベント情報を発信しています。

千葉市議は、健康づくりのまちなか拠点、天守の引戻、国スポ・障スポに訪れる方々

## こうした時に大鰐線がピンチのままで良いのか

「令和10年3月31日の運行をもって大鰐線を休止する」とした弘南鉄道株式会社の「長期計画の見直し」、沿線自治体による「支援計画の一部改正」について、本年1月に開催された市町村長会議で合意。それまでの期間、市は「運行維持に必要な支援等を行う」と答弁。また、県を事務局に代替交通の検討も始まっています。

## 市長が答弁に立つ

市長が答弁に立ち、「まさにその通りで令和7年度から準備をしないとイケない。多くの観光客にお越しいただくためには、今あるものは大切に使いつながっていく。大鰐線についても、まだ3年ある。お金をかけるだけではなく、知恵を出して工夫をして、令和7年度取り組みを進め、令和8年、令和9年に繋げていきたい」と答弁しました。

## 街づくりに向けての市長の意気込みは

そこで、千葉市議は、「市民の足として重要な役割を果たした大鰐線がピンチのまま寂しく幕を閉じて良いのか。令和8年・9年のチャンスを生かし切るには、大鰐線含めて各取組を相乗的に推し進め



令和7年 8月分 会 計 帳 簿

支出項目	広報費
------	-----

NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品 目	支 出 先		領 収 書 番 号	私 証 明 書 番 号
1	8月8日	会派日本共産党弘前市議団だより 8月15日(第37号)発行、15,000部作成 印刷・ポストイン料	サンキュウ企画出版	404,250	2	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
月 小 計				404,250		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領収書番号	2
---------	-------	-------	---

領 収 証

弘前市議会会派 日本共産党

様

No. \_\_\_\_\_

★ ￥404,250

内 訳

現金

小切手

手形

消費税額等( %)

コクヨ ウケ-98

但弘前市議会だより第37号印刷、ポスティング料として

令和7年8月8日 上記正に領収いたしました



サンキュウ企画出版

代表 田 邊 繁 美

〒036-8242 弘前市大原二丁目3-3

TEL/FAX:0172-88-3341

支出目的・内容

会派日本共産党弘前市議団だより（第37号）に係る印刷・ポスティング料

備 考

発行月日：令和7年8月15日

作成部数：15,000部

成果品1部添付

請求書

令和7年8月8日

No. \_\_\_\_\_

サンキュウ企画出版

代表 田邊 繁美

T036-8242 弘前市大原二丁目3-3

TEL/FAX:0172-88-3341

登録番号 T7-8105-7538-6956

弘前市議会 会報 日本共産党 様

下記のとおり御請求申し上げます

品名	数量	単価	金額(税抜)	税込	税率(%)	摘要
1 弘前市議会だより 第37号	15000部	19	285000			
2 " ポスティング料	15000部	5.50	82500			
3						
4						
5						
6						
7						
税率 10%	消費税額等	36750	合計(税抜)	367500		
税率 %	消費税額等		合計(税抜)	404250		

税込合計金額 ¥404,250

# 会派日本共産党 弘前市議団だより

第37号

2025年8月15日

発行：日本共産党弘前市議団  
住所 弘前市上白銀1-1  
代表 千葉浩規 TEL・FAX 88-6551

## 人びとの暮らし、痛みに寄り添い 困ったときに頼れる弘前を



### 全国市議会議長会から 千葉こうき市議会議員が表彰を受ける

5月20日に東京都で開催された、全国市議会議長会第101回定期総会において、市議会議員として十年市政の振興に努めてきた功績により、千葉こうき市議が表彰されました。

6月6日の本会議において、千葉市議に対し、尾崎寿一議長から表彰及び記念品の伝達が行われました。

今回表彰を受けた千葉こうき市議（中央）、1期目の三浦こう市議とすとうえりか市議

### 6月議会が開催 6月6日～7月2日

令和7年第2回弘前市議会定例会（6月議会）は、6月6日から7月2日まで開かれました。

櫻田市長からは、一般会計補正予算第3号など15件の議案が提出されました。

日本共産党市議団は、国民健康保険料の賦課限度額を引き上げる内容を含む議案

### 市議会常任委員会の委員を改選

今回の6月議会において、各常任委員会及び議会運営委員会の改選が行われました。

- 千葉こうき議員 議会運営委員
- すとうえりか議員 総務常任委員
- 三浦こう議員 経済文教委員
- 三浦こう議員 厚生常任委員

### 議案第85号反対討論

#### 厚生常任委員会 三浦こう議員

今回の改正は、基礎賦課限度額（医療給付費分）を1万円、後期高齢者支援金等賦課限度額を2万円引き上げることになり、収入に応じた保険料となっていない。また、限度額を引き上げることで、中間所得層の物価高が続き経済状況が厳しい中であるので、賦課限度額を据え置くよう国に求めることを最後に要望し、反対討論とする。



# 三浦 こう 市議会議員

## 気候変動の中、手厚い農業支援を！ 市は平和行政への取組を増やせ！



三浦こう市議は6月議会の一般質問で、①気候変動の中でのりんご農業支援について ②スポーツを応援する文化について ③平和行政について質問しました。

### りんご園への冬の豪雪被害

今年はりんご植栽150周年を迎えました。冒頭で三浦市議は、「全国に誇る当市の基幹産業を、農家の皆さんや関係機関の皆さんが、自然の猛威と闘いながら継続・発展させてこられたこと」に感謝のこぼを述べました。

三浦市議は昨年12月からの豪雪による被害状況と、苗木と支柱の支援事業について質問しました。

市は「当市の積雪深は観測史上最大の160cm、りんご枝折れ被害は64億5千万円」「農林水産省が視察、生産性の回復と強化に向けた改植や病害まん延の防止に向けた取組等を公表。今後国の事業で対象とならない部分も、複数年に渡り市の支援事業を検討し、持続可能なりんご産地の実現につながる」と答弁しました。



### 気候変動の中厳しい農業 農家にきめ細かい支援を

三浦市議は苗木不足対策や安定供給に向けた取り組みはどのようなものがあるか質問しました。

市は「当市の被害面積割合(約30%)から試算した苗木の必要本数はおおよそ5万本」「県の『りんご苗木の安定供給に向けた総合対策』では、生産者への苗木在庫数の情報提供と高接ぎの技術指導、苗木生産体制の整備に加え、苗木生産の人材育成、災害時に備えた台木の養成と備蓄を行うこととしている」と答弁しました。

### スポーツを応援する文化を

三浦市議は「するスポーツ」はもちろん、「観るスポーツ」も、「健康都市弘前」の実現と街の活性化につながることを考え、市の見解を質問。

市は「プロ野球一軍戦やトップアスリートが所属するチームの合宿を誘致し、多くの市民が一流の技術に触れる機

会を創出し、選手やチームを応援する市民が多くなるよう各種事業を展開していく」と答弁しました。

三浦市議はサッカーのブランドニュー弘前について「選手の皆さんは日中働きながら練習や試合をこなし、また限られた時間と経費の中でがんばっておられる監督や運営のスタッフの皆様には敬意を評します。」と述べ「地元の企業や行政との連携やサポート、また地域のスポーツチームを応援する機運が、もつとあっても良い」と要望しました。

三浦市議は青森市のラインメール青森がJFLで首位を走り、天皇杯ではJ1の横浜マリノスを破るなど躍進していること、ヴァンラーレ八戸はJ3で首位争いをし地元への応援を受けていることを述べ、市としても青森や八戸に負けないよう、昇格という結果を出すため、できるだけの支援をすること

を求めました。



### 市の平和行政について質問

三浦市議は平和行政の取組を質問。市は「平成22年に市議会ですべての市議員が決議、平成24年市役所前に平和都市宣言碑を建立、平成23年から平和首長会議に加盟」「戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に伝え『世界の恒久平和の実現』に向けた取り組みを行う」と答弁しました。

全国の自治体では、毎年広島・長崎の平和記念式典に送り出す派遣事業があり、参加中学生の「身近に起こるいじめや差別、虐待、犯罪をなくしたい」という感想文を三浦市議は紹介。「全ての暴力的事象を否定し、人を思いやり、理解、協力することで平和を実現する。そのために一人ひとりが担える役割があることを広くお知らせし、その結果、暴力、人権侵害の頂点である戦争や核兵器をなくしていく広がりにつなげたい」と三浦市議は述べ、市からの平和学習派遣事業への参加を求めました。



6/5平和行進に参加する 会派日本共産党市議団

# すとうえりか 市議会議員

## 子どもの未来に優しい社会を!

### 国民健康保険「18歳以下の均等割」廃止を求め!



すとうえりか市議は6月議会の一般質問で3項目について質問しましたので、一部をご紹介します。

#### ●国民健康保険について

国は令和8年度から、子育て支援のため医療保険料に、新たな支援金を上乘せ予定です。国民健康保険の保険料も増える見込みであり、子育て支援は重要ですが、現役世代や低所得者へのさらなる負担増は避けるべきです。

そこで須藤えりか市議

は、「子ども・子育て支援納付金導入に対し、弘前市としてどう対応するのか? 特に、国保の低所得者の負担増にどう対処するのか?」と質問しました。

市は、国の制度に基づき、

#### 新たな負担増やさず、

子ども・子育て支援金は、低所得の子育て世帯に新たな負担を課す制度です。

医療保険料に一律で上乘せされる仕組みは、実質的に逆進的な増税であり、生活を圧迫しかねません。国保の均等割制度では収入のない子どもにも保険料がかかり、子どもが多い家庭ほ

子ども・子育て支援金の納付額を算定し、保険料率を設定する予定。

「平均負担額は月250円(国保加入者1人あたり)とされ、所得に応じて7割・5割・2割の軽減措置が適用し、賦課限度額も設定される予定である。」と答弁しました。



#### 均等割りなくすべき

ど、負担が増えるという不公平があります。国は一部軽減措置を設けましたが不十分です。

市の財政調整基金は令和6年度36億を超えました。資金を活用し、18歳までの均等割を弘前市独自に廃止することを須藤市議は強く求めました。

#### ●国スポ・障スポに向けた施設整備について

須藤えりか市議は、国スポ・障スポに向け、運動公園の整備状況に対して市民の関心の声があった。

「屋外トイレの建物入口にドアがないことや、陸上競技場内設置の障がい者用トイレの扉が重いこと。陸上競技場付近にあるトイレ入口前が樹木の根上がり

で、来園者の歩く所が隆起している点について。各所改修予定はあるのか。」と質問しました。

市は「屋外トイレは8箇

#### ●生理の貧困について

生理の貧困は、女性の健康や生活、教育・就労に深刻な影響を与える社会課題です。須藤えりか市議は、

コロナ禍で顕在化し、今では多くの自治体が支援を始めていますが、当市ではどのような状況か質問。

市は、「コロナ禍で生理用品に困る声の広がりを受け、令和3年6月、大学生団体の要望等に応じ防災備

所中入口に扉や目隠しがついていないものは6箇所ある。費用を要することから、総合的に検討していく。障がい者用トイレ扉

と、施設内の隆起箇所については、大会開催までには改修・改善を考えている。」と答弁しました。



蓄品を提供。以降、寄附を活用し窓口や学校で無償配布を実施。

現在公共施設での提供はひろさき生活・仕事応援センターのみであり、在庫がなくなり次第終了との答弁でした。学校のみならず、各所公共施設においても、生理用品の無償配布体制を早期に整備するよう強く要望しました。

# 千葉こうき 市議会議員

## 農業、コメを軽んじる政治に未来は無い

### 減反・減産は止め、コメ増産を!



千葉こうき市議

千葉こうき市議は、一般質問で4項目の質疑を行いました。その中の「米不足・米価高騰について」、今回は特集します。

千葉こうき市議は、一般質問に先立ち地域を歩き市民の声を伺ってきました。

**自民党農政からの転換を**

千葉市議は、一般質問の壇上より、「米不足・米価高騰が極めて深刻なだけに、備蓄米5千2千円の米への関心が高いが、一方、『米の価格が安くなると農家が困るのでは』との心配する声も多く寄せられた」と市民の声を紹介。さらに、「こうした声に応えるには、自民党農政からの抜本的転換が必要」と訴えました。

**コメを市場任せにせず、国が生産と流通に責任を**

千葉市議は、「弘前市における令和7年産米の生産数量目標」について質問しましたが、答弁では、その「目標」の根拠が示されませんでした。そこで千葉市議は、「実際

にどれだけ、米を作付けするかは生産者任せで、生産者の自己責任、価格決定は市場任せ。今後米価の乱高下を繰り返すことになる」と指摘。

さらに、「米は日本の主食なわけだから、国が生産と流通に責任を持つべきだ」としました。

**減反・減産の押し付け止め コメ増産に舵をきるべき**

「生産数量目標」を前年度の「実績」と比較することによって、農家に減産を迫る内容となっていたことから、「なぜ減産を迫るのか」質問。市は「供給過剰となる恐れもある」と答弁。

千葉市議は、この答弁を受けて、「備蓄米の61万トン放出に続いて、さらに20万トンの放出とのこと。残りは10万トン。まさに、危機的なコメ不足」だとして、「減反・減産を農家に押し付けることは止めて、コメ増産に大きく舵をきるべきだ」と訴えました。



#### 弘前市における田の経営耕地面積

単位:ha 農林業センサスより



#### 弘前市における主食用米の生産数量実績

(単位:トン) 市の答弁より



**コメの生産基盤の縮小進行**

千葉市議はコメ増産に向けて、弘前市のコメの生産基盤の現状について質問。

市は、「高齢化や担い手不足を背景に、経営体の減少は早いスピードで進行しており、生産基盤の縮小は避けられない」と答弁。

**弘前市内の農地の集積は**

弘前市では、農業経営基盤強化に向けて、市内10地区に分けた「地域計画」を策定。市は、千葉市議の質問に「市内の担い手への農地の集積率は62%。令和12年までに、国が目指す集積率と同様に80%」を目標にしていると答弁。

**安心してコメをつくれる 価格保障と所得補償を**

千葉市議は、この答弁を受けて、「大規模農家と中小規模の農家が併存する状況が続く」とし、「コメ増産を図るには、中小規模の農家にもより一層頑張っていたり必要がある」と訴えました。最後に、千葉市議は「消費者には手ごろな値段でお米を提供し、中小規模の農家も含めて、コメの再生産が可能となる価格保障と所得補償を行い、国が責任を持ち、その差額を財政的に支えることが必要」と訴えました。



令和7年10月分 会 計 帳 簿

支出項目	広報費
------	-----

NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品 目	支 出 先		領 収 書 号	私 証 明 書 号
1	10月30日	会派日本共産党弘前市議団だより 10月30日(第38号)発行、15,826部作成 印刷・ポスティング料	サンキュウ企画出版	412,361	3	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
月 小 計				412,361		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領収書番号	3
---------	-------	-------	---

領 収 証 弘前市議会会派日本共産党 様 No. ....

★ ￥ 412,361

内 訳 \_\_\_\_\_  
 現金 \_\_\_\_\_  
小切手 \_\_\_\_\_ /  
手 形 \_\_\_\_\_ /  
消費税額等 ( % ) \_\_\_\_\_

但弘前市議会だより印刷第38号、ポスティング料として  
令和7年10月30日 上記正に領収いたしました

サンキュウ企画出版  
代表 田 邊 繁 美  
〒036-8242 弘前市大原二丁目3-3  
TEL/FAX:0172-88-3341



コクヨ ウケ-98

支出目的・内容	会派日本共産党弘前市議団だより (第38号) に係る印刷・ポスティング料
---------	--------------------------------------

備 考

発行月日：令和7年10月30日  
作成部数：15,826部  
成果品1部添付

請求書

令和7年10月28日

No. \_\_\_\_\_

弘前市議会 会派 日本共産党 様

サンキュウ企画出版

代表 田邊 繁美

〒036-8242 弘前市大原二丁目3-3

TEL/FAX:0172-88-3341

登録番号 T7-8105-7538-6956

下記のとおり御請求申し上げます

品名	数量	単価	金額(税抜)	税込	税率(%)	摘要
1 弘前市議団だり第38号	15826部	18.50	292781			
2 " ポスティング料	14926部	5.50	82093			
3						
4						
5						
6						
7						
税率 10%	消費税額等	37487	合計(税抜)	374874		
税率 %	消費税額等		合計(税抜)	412361		
			税込合計金額	¥412361		

# 会派日本共産党 弘前市議団だより

第38号

2025年10月30日

発行：日本共産党弘前市議団

住所 弘前市上白銀1-1

代表 千葉浩規 TEL・FAX 88-6551

## 市は、市民の暮らしを守る 砦としての役割を發揮せよ



10月、令和7年度弘前市総合防災訓練での三浦こう市議、千葉こうき市議、すとうえりか市議。

令和7年第3回定例市議会（9月議会）は、8月29日に開会し、10月2日に閉会。35日間行われました。

今議会は、櫻田市長から23議案が提案され、党市議団はこの中で昨年度の決算議案2件（一般会計、国保会計、介護保険会計）に反対の態度をとりました。

三名の党市議団は、今議会も一般質問、総務・厚生・経済文教の各常任委員会、予算決算常任委員会で、質疑、討論に参加。市民の願いや声をしっかりと市政に届けて、奮闘しました。

また、「一般会計決算の認定」に千葉こうき市議が反対討論を行いました。

本「だより」では、2面から4面にかけて、各市議の記事が掲載されています。

弘前市内で10月8日、令和7年度青森県市議会議員研修会が開催され、党市議団の3名も研修会や浄水場視察に参加しました。



9月17日、りんごの収穫作業の本格化に向けて、生産者を激励する市内りんご園地の現地視察が実施され、党市議団の3名も参加しました。



# 三浦 こう 市議会議員



## 排外主義を否定し、多文化共生社会実現を！ 中小企業・小規模事業者へ賃上げ支援を！

三浦こう市議は9月議会の一般質問で、①多文化共生社会について ②子ども版「はじめての防衛白書」について ③当市の中小企業支援について質問しました。

### 差別と排外主義を否定し、多文化共生社会実現を！

三浦市議は、7月の参議院選挙において、排外主義をおおるような言説やフェイク情報が行ったことを述べました。一方、青森県で開催された全国知事会議では、「排他主義、排外主義を否定し、多文化共生社会を目指す我々47人の知事がこの場に集い、対話の中で日本の未来を拓く」と宣言されたこと、「自治体からみれば海外ルーツの方も私達と同じ『生活者』であり『地域住民』である」と提言されたことを紹介しました。

三浦市議は「差別や排外主義を否定し、多文化共生社会を実現するための取組が求められる」とし、市長の考えと市の取組を問いました。市長は「多文化共生・国際交流の推進を市の施策として位置づけ、異なる文化を理解し尊重することを目指している」「生活上の困難や生きづらさに直面する人への支援として、若年者・高齢者・障害者・外国人等が安心して暮らせる環境整備を位置づけ取組を進める」と答弁し、在住外国人を対象にした「交流型日本語教室」や、市内の中学生を外国に派遣する「中学生国際交流学習事業」などの取組を説明しました。



### はじめての防衛白書に質問

防衛省が子ども版「はじめての防衛白書」という冊子を、青森県を含む全国8県約2千4百の小学校に配布したと報道されたことを受け、三浦市議は冊子が配布された経緯と各学校の対応を質問。市教育委員会は「東北防衛局から依頼を受けた県教育委員会を通して各小学校に1冊ずつ配布された」「数校に利用方法や取り扱いを確認したところ、教職員で回覧した上で他の文書とともに保管をしている」と答弁。

三浦市議は白書の内容に、ウクライナがロシアに攻め込まれた理由を「防衛力が足りなかった」とし「抑止力が大切です」と明記してあることに触れ、「ロシアの国際法違反の侵略が問題、抑止力にも国民の間で意見が分かれる」と述べました。また白書で中国、ロシア、北朝鮮の軍事活動に触れ「日本の位置する地域は安全とは言えませんが、脅威をおおっていることを述べ、中国ルーツの子が見たらどう思うか。分断を招きかねない」「小さいうちに学んだことはそのまま頭に入り当たり前になる」と問題点を指摘し、平和教育の大切さを訴えました。



今年県内の小学校に1冊ずつ配布された「はじめての防衛白書」冊子

### 中小企業への賃上げ支援を！

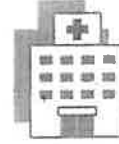
三浦市議は「中小企業・小規模事業者の賃上げが深刻な人手不足の解消や地域経済の活性化に必要。しかし事業者は、コロナ禍に続く燃料費などの物価高騰、そして消費税増税とインボイス制度導入もあり、厳しい経営状況。地方経済の疲弊に歯止めをかけるため、しっかりと賃金を払えるような支援を」と、中小企業・小規模事業者への賃上げ支援を求めました。

市は「賃金所得の増加に積極的に取組んでいる中小企業等と判断し、市独自の支援に関する補正予算を明日の一般質問最終日に追加提出させていただきます」と答弁しました。  
**補正予算で「賃上げ応援奨励金交付事業」が可決・成立！**  
その日三浦市議の一般質問の後に開かれた議会運営委員会で、2.5%以上の賃上げを行う市内中小企業等を対象に、従業員一人当たり5万円が交付となる「賃上げ応援奨励金交付事業」が補正予算として追加提案され、翌日追加提出。9月24日に可決・成立しました。



# すとうえりか 市議会議員

## 子どもの命・学びに寄り添い



### 地域医療守り、安心して暮らせる弘前市を求めよう！

市民の皆様から頂いたお話を基に、今回4項目について質問しましたので、一部をご紹介します。  
※下記QRコードから、一般質問の様子をご覧いただけます。



#### スクールバスの活用と、通学環境の改善について

##### すとう市議の質問

令和6年度は熊対策として裾野中学校のスクールバス利用を期間限定で認めましたが、冬季は熊が出ないため利用が制限されています。裾野地域に限らず、郊外では積雪や凍結、視界不良などの危険が多く、保護者の送迎なしでは通学が困難な状況もあり、熊対策に

##### 市の答弁

令和7年度も4月～12月まで裾野中学校の乗車を認めています。ただし冬季は、小学生の乗車希望が多く、定員を超える恐れがあるため中学生の利用は認めていないと答弁しました。

#### 小中学校の熱中症対策について

##### すとう市議の質問

近年の猛暑を受け、市立小中学校では空調設備の整備が進められています。

##### 市の答弁

令和2年に空調運用指針を策定し、基本温度を文科省基準の28℃としています。湿度や児童の体調などを考慮し、各校が柔軟に調整できるように運用されています。児童の健康に配慮した管理が行われるよう、教育委員会からも学校へ周知しています。

#### 小中学校における発達障がい児童への支援について

##### すとう市議の質問

入学後に感情のコントロールが難しい児童もおり、学校現場では対応に苦慮していると伺っています。

##### 市の答弁

当市の、特別支援学級の学級数および、在籍児童生徒数の推移についてと、各種健康診断では把握できなかった発達障がいのある児童に対する、当市の支援体制の状況について質問しました。

インクルーシブ教育の充実を目指し、共に学べる環境づくりを推進。義務教育段階の児童数は減少する一方、特別支援学級の在籍数は10年で約3倍に増加。健診や教育相談を通じて就学前から支援につなげ、入学後も校内委員会等で支援体制を整備し、年度途中の学級変更も可能であると答弁しました。

#### 弘前市の医療機関の現状について

##### すとう市議の質問

物価高騰で医療材料費や人件費が上がる中、診療報酬が低く抑えられ、多くの医療機関が経営難に陥っていると伺っています。弘前市の医療機関の閉院・新規開業の状況や、開業医の減少に対する認識、支援・対応について、どのように考えているのか質問しました。

##### 市の答弁

弘前市では、令和5年度新規開業2件・閉院3件、令和6年度は新規開業2件・閉院5件。クリニック等の減少は、地域医療の崩壊を招きかねない問題。  
令和7年6月開催の第95回全国市長会議において弘前市長は、診療報酬の見直しや物価高騰への財政支援を国に要望したと答弁しました。

# 千葉こうき 市議会議員

## 『生活保護費削減は違法』の最高裁判決受け 市は、早期補償を国に求めよ!



千葉こうき市議会議員

千葉こうき市議は、一般質問で3項目について質問。その中の一つ「生活保護行政について、その質疑の概要をお知らせします。」  
 なお、千葉市議は、「中心市街地活性化」、「弘南鉄道」について質問しました。

6月27日、最高裁判所は、国が平成25年から3回に分けて行なった平均6・5%、最大10%、総額670億円の史上最大の生活保護基準引き下げを違法と判断し、減額処分を取り消す判決を言い渡しました。



**生活扶助費、3年間で総額約1億1千万円減額**

千葉こうき市議は、「国は、本判決をふまえて早急に、謝罪し、補償に應じるべき」と訴え、当該期間の当市の生活保護費削減の減額規模について質問しました。

て質問しました。

市は、世帯数及び実人員の月平均について、平成25年が3千681世帯、4千556人と答弁しました。

また、生活保護費の減額規模は、平成24年度とその後3年間の各年度の差額を合計し、1億937万3千623円と答弁しました。

**生活保護基準が44件の事業に関連**

また、千葉市議の質問に、市は平成25年当時、全庁調査したところ、個人住民税の非課税限度額を参照しているもの等、全体で44件の事業が生活保護基準と連動していたが、国の通知により影響が及ばないよう対応するところが求められたと答弁しました。



### 生活保護基準に関連する主な制度一覧

判定基準として非課税情報を利用している主な制度
国保 高額療養費制度
国保 入院時食事療養標準負担額
介護保険 保険料
介護保険 高額介護(予防)サービス費
介護保険 高額医療・高額介護合算制度
障害者自立支援医療制度
重度心身障害者医療費助成制度

：弘前市財政部市民税課提供

※ 住民税の非課税限度額は、生活保護基準を勘案し条例で設定することになっています。

### 宇賀裁判長の個別意見

宇賀裁判長は判決文の個別意見の中で「違法に引き下げを拡大して、その結果、最低限度の生活の需要を満たすことができない状態を9年以上にわたり強いられてきたとすれば、損害賠償請求は認容すべき」としました。



### 国に早期解決、生活保護基準引き上げを求めよ

千葉市議は、市に対して「それだけに、早期に補償に向けての方針を打ち出す事、真摯に謝罪をする事等を国に求めよ」と要求。

また、国は、物価高騰に臨時的な加算で対応していますが、生活保護基準と関連

する44件の事業の改善にも結びつくことから、「市は10%以上の大幅な生活保護基準引き上げを行うことを国に要望せよ」と迫りました。



### 市は国に困苦する市民の声を届けよ

市は「基準引き上げの提案を行うことは困難」と答弁するのみ。


そこで、千葉市議は、「物価高騰で困苦する生活保護利用者の声を国に届けることがなぜ出来ないのか」と訴え、生活保護利用者の声を紹介し、「市は、こうした市民の声に寄り添い、市民の生活を守る砦としての役割を發揮せよ」と訴えました。

令和8年 2月分 会 計 帳 簿

支出項目	広報費
------	-----

NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品目	支出先		領収書 番号	支払 明細 番号
1	2月5日	会派日本共産党弘前市議団だより 1月20日(第39号)発行、15,900部作成 印刷・ポステイング料	サンキュウ企画出版	414,315	4	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
月 小 計				414,315		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領収書番号	4										
<p>領 収 証 <span style="margin-left: 100px;">弘前市議会 会派 日本共産党</span> 様 No. _____</p> <p style="font-size: 24px; margin-left: 100px;">★ ￥ 414,315-</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border-bottom: 1px solid black;">内 訳</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">但弘前市議会だより3号印刷、ポスティング料とL7</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">現金</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">令和8年2月5日 上記正に領収いたしました</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">小切手 /</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">手形 /</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">消費税額等( %)</td> <td></td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p><b>サンキュウ企画出版</b>                  代表 田 邊 繁 美                  〒036-8242 弘前市大原二丁目3-3                  TEL/FAX:0172-88-3341</p> </div>				内 訳	但弘前市議会だより3号印刷、ポスティング料とL7	現金	令和8年2月5日 上記正に領収いたしました	小切手 /		手形 /		消費税額等( %)	
内 訳	但弘前市議会だより3号印刷、ポスティング料とL7												
現金	令和8年2月5日 上記正に領収いたしました												
小切手 /													
手形 /													
消費税額等( %)													
支出目的・内容	会派日本共産党弘前市議団だより (第39号) に係る印刷・ポスティング料												
備 考													
発行月日：令和8年1月20日 作成部数：15,900部 成果品1部添付													

請求書

令和8年2月5日

No. \_\_\_\_\_

弘前市議会 会派日本共産党 様

サンキュウ企画出版

代表 田邊 繁美

〒036-8242 弘前市大原二丁目3-3

TEL/FAX:0172-88-3341

下記のとおり御請求申し上げます

登録番号 ~~17-8105-7538-6956~~

品名	数量	単価	金額 (税抜)	税込	税率(%)	摘要
1 弘前市議会だより 第39号	15,900部	18.50	294150			
2 ポスティング料	15,000部	5.50	82500			
3						
4						
5						
6						
7						
税率 10%	消費税額等	37,665	合計 (税抜)	376,650		
税率 %	消費税額等		合計 (税抜)	414,315		
			税込合計金額	¥414,315		

# 会派日本共産党 弘前市議団だより

第39号

2026年1月20日

発行:日本共産党弘前市議団  
住所 弘前市上白銀1-1  
代表 千葉浩規 TEL・FAX 88-6551

## 2026年 さらに前へ! くらし応援を第一とする市政へ



1月5日、弘前市合併20周年記念市民新年互礼会での三浦こう市議、千葉こうき市議、すとうえりか市議

**今年も頑張ります** 日本共産党市議団

弘前市では、令和5年度に18歳までの所得制限無しの子どもの医療費完全無償化が実現しました。さらに、学校給食費の無償化、高齢者の補聴器購入費助成制度が実現。国保料も令和3年度、令和5年度と2度引き下げられ、市民のくらし応援が前進し始めました。これらで頑張ります。

### 12月定例会市議会 市民の願い実現へ、頑張りました

令和7年第四回弘前市議会定例会(12月議会)は、11月28日から12月24日まで開かれました。

#### 30議案で質疑・討論

櫻田市長からは、最終日に提出された一般会計補正予算第10号を含めて30議案が提出されました。

日本共産党市議団は、個人番号の利用範囲を広める等の条例改定案、特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の改定案、特別職の職員の給料等改定案、議員の報酬・費用弁償等改定案の4議案については、各常任委員会で討論も行い反対。残る議案は賛成しました。

**厚生常任委 三浦こう市議 願2件で賛成討論**  
また、請願2件について党市議団の3名は賛成。付託された厚生常任委員会で、三浦こう市議が賛成討論を行いました。

「地域の医師不足解消に関する請願書」では、「医師不足が顕著であり、地域の衰退と住民の健康・生命

に直結する重大な問題、市として対策を講じる必要がある」と賛成討論。

「地域医療を守るための社会保障制度の拡充を求め、医療報酬の引上げを求め、地域医療を持続可能なものとする」ことは、地域住民が安心して医療を受けられる環境を守るために必要」と賛成討論を行いました。

議員定数等協議を報告 そのほか、議会改革特別委員会の委員長による中間報告が行われました。議員定数に関わる協議については、創和・公明、弘前さくら未来、滄桑之会及び無所属が「議員定数を2人削減することが妥当である」とする一方で、奏望会と日本共産党が「現状維持」との意見であることから、「本委員会として、これ以上の意見集約は見込めないものと判断した」との報告でした。

# 千葉こうき 市議会議員 米価高騰くらしを直撃

## 市民生活応援を求める



千葉こうき市議会議員

千葉こうき市議は、一般質問で3項目について質問。その一つの「米生産と米価高騰」についての質疑の概要をお知らせします。そのほか、千葉市議は「内水ハザードマップ」、「地域公共交通」について質問しました。

### 「第3弾！弘前お米とくらし応援券」配布へ

千葉こうき市議は、米価が高騰し、家計を直撃している中で、市民生活応援の対策について質問。市は、「国の予算等の状況を踏まえ、市民の負担軽減に向けて支援を検討する」と答弁。その後、市は国の補正予算の可決を受けて、「第3弾！弘前お米とくらし応援券」

配布事業の補正予算を議会最終日に提出し、可決成立しました。



### 恒常的な消費者支援を

千葉市議は、「第2弾！弘

前お米とくらし応援券」の利用実績を質問した後、米生産を持続させるためには、多少米の値段が高くなっても、消費者が安心して購入できるように一時しのぎではない、恒常的支援策が必要だと訴えました。



### 「水田活用交付金」の活用状況は

また、市は千葉市議の質問に、当市の水田農業向けの交付金活用状況について、令和6年産の「水田活用の直接支払交付金」が138件の約3億4千756万円、「経営所得安定策のゲタ交付金」が22件の約1億2千42万円と答弁。

### 「水田活用交付金」を抑制する国の動き

この数字を聞いただけでも、「水田活用交付金」が米生産を安定化させる上で、極めて重要なことが分かります。ところが、国の財政制度等

審議会は「令和8年度予算の編成等に関する建議」で、その「水田活用交付金」について、飼料用米に対し「現在のような高額な支援を一律に講じる必要性に乏しい」とするなど、これまでの支援を抑制するかのような姿勢です。

### 「水田活用交付金」には食料自給率向上の役割

そこで、千葉市議は「水田活用交付金」が果たす役割について、市の考え方を質問。

市は、「食料自給率の向上、農業経営の安定化につながる」とし、「飼料用米などを支援することで主食用米の需要の変化に柔軟に対応できると答弁しました。

### 国に予算確保求めよ

この答弁を受けて、千葉市議は、消費者にとっても極めて

### 第3弾！弘前お米とくらし応援券で質疑

千葉市議は、議会最終日に補正予算で質疑。

■問 応援券を1人当たり5千円とした経緯は。

■答 県産米5kgの価格が4千円台で推移し、米に合わせて他の商品を購入することを考慮した。

■問 速やかな実施となるのか。

て重要だとして「必要な予算を確保することを国に求めよ」と質問。

市は、全国市長会を通じて「農林水産省に対し当市を含む全国の自治体が連携して要望している」と答弁しました。



### 生産者支援が必要

議会最終日、千葉市議は「第3弾！弘前お米とくらし応援券」配布の補正予算の質疑で、今回の予算を歓迎しつつ、根本的には、米生産の市場任せは止めて、国が米の生産と流通に直接責任を持ち、米増産を基調に価格保障・所得補償でセーフティネットを充実させることが必要だと訴えました。

■問 事務経費削減は。

■答 事務費の割合は、約10%と第1弾、第2弾よりも低く、必要最小限に抑えている。

# すとうえりか 市議会議員

市施設で生理用品  
無料配布始まる

## 「生理の貧困」対策が前進

### 繋がりの架け橋で市民の困難解決を!!

すとうえりか市議は、市民の皆様から頂いたお話を基に、今回3項目について質問しましたので、その一部をご紹介します。

#### 「生理の貧困」について

すとう市議の質問

令和7年10月7日から、弘前市では生理用品の無償配布が正式に始まり、生理用品の購入が難しい「生理の貧困」に対応するため、必要な方が安心して受け取れる仕組みが整いました。

市の答弁

全国20自治体の事例を踏まえ、令和7年10月7日から、弘前市も無償配布を開始しました。市窓口5・社協2の、計7カ所を実施し声を出さず受取可能です。10〜11月で、355パック配布済となつておりと答弁しました。



#### 女性の健康課題は

#### 「社会全体の課題」

生理や女性の健康課題について「個人の悩み」ではなく「みんなで支える課題」として、理解を広げていくことが重要です。より多くの市民に届くよう、配布場所の拡大を求めるとともに、相談につながりやすくするため、生理用品の袋へ、相談窓口一覧を同封するよう提案しました。

経済産業省の調査では、女性特有の健康課題による経済損失は年間3.4兆円にのぼるとの試算が出ています。生理や更年期の不調は、学業や仕事に影響を与えることもあることから、生理用品の無償配布は、単なる物資提供ではなく、相談や支援につながる大切な「入り口」です。

#### 弘前市の子ども子育て支援について

すとう市議の質問

#### 子育ての

#### 喜びを支える

市内で5人の子を育てる家庭から、多子軽減が受けられず負担が重いとの声がありました。特に1・2歳児の保育料が高く、生活を圧迫しているとのことから、本市の子育て支援の現状について質問しました。



市の答弁

保育料は国・県・市の負担金と保護者負担で成り立ち、3〜5歳と低所得世帯の0〜2歳は無償です。

弘前市は独自軽減を行い、国基準より約39%保育料を抑えています。多子世帯は2人目半額・3人目無料ですが、児童の数え方は所得で異なります。副食費も所得と児童順位により3人目以降が免除されると答弁しました。

保育料や副食費の軽減に使われる「子どもの数え方」が所得で変わるため、負担軽減が実感できないケースがあります。子どもを産むことを諦めなくてすむよう多子軽減制度の「子どもの数え方」を、より公平で分かりやすい仕組みに見直すことを強く求めました。

社会福祉センター付近の市道に立つ須藤えりか市議



こちらから、市議会の一般質問動画をご覧いただけます。



# 三浦こう市議会議員



## 賃上げ支援継続を求め一般質問！ 第2弾弘前市賃上げ応援奨励金が実現！！

三浦こう市議は12月議会の一般質問で、①当市における病院の現状と支援について ②除排雪の取り組みについて ③「賃上げ応援奨励金」交付事業について質問しました。

### 9月議会で決まった賃上げ応援奨励金

三浦市議は前回9月議会で、「地方経済の疲弊に歯止めをかけるため、しっかりと賃金を払える支援を」と、中小企業・小規模事業者への賃上げ支援を求め質問しました。

市は「賃金所得の増加に積極的に取組んでいる中小企業等をしつかりと支援する必要がある」と答弁し、令和8年4月までに2.5%以上の賃上げを行う市内事業者を対象に、従業員一人当たり5万円（上限百万円）が交付となる「賃上げ応援奨励金交付事業」を8800万円の補正予算として追加提出し、可決・成立しました。

県内初めての賃上げ支援となる弘前市賃上げ応援奨励金の募集は11月4日から始まり、応募が殺到し3日で予算額に達したため、その後は審査待ちの補欠として受付されました。

### 12月議会でも一般質問 市は前向きな答弁

12月議会で三浦市議は、「賃上げを実施したい事業者がまだまだある。補欠となった事業者にも支援が行き渡るよう、追加予算を組む考えがあるか」質問しました。

市は「賃上げ応援奨励金は、最低賃金の引き上げや物価高で事業者が厳しい中、地域における賃上げの動きを促す上で一定の効果があった。賃金水準の改善に向けた後押しを引き続き進めていく」「今後も物価高の影響を受けている市民や事業者に、一刻も早い支援を実現していきたい」と前向きに答弁しました。

再質問で三浦市議は、翌年度以降も継続的に賃上げ支援を行う仕組みを求めて質問し、市は「本事業の検証と、国や県の賃上げ支援や経済対策の動向を注視し検討していきたい」と答弁しました。

### 2度目となる賃上げ応援奨励金が補正予算で実現！

その後7千5百93万円の補正予算で、「賃上げ応援交付事業追加」が提出され、12月24日に可決・成立しました。

三浦市議の求めた前回補欠の事業者には、整理番号順に繰り上げて交付対象候補になりました。

今年の1月8日から募集が始まり、申込順に受付となりました。堅田に事業所を持つある経営者は、事業継続を聞き「ありがたい制度。ぜひ申し込みたい」と話していました。

### 病院は深刻な経営赤字 支援を求めて質問

三浦市議は市内にある病院の経営が深刻な赤字に直面している話を聞き、国への要望と支援を求めて質問しました。

市は「県内自治体病院は9割が赤字。総合医療センターも患者数は増加し収益は増えているが、診療報酬が経費上昇分を賄うには至っていない。地域の医療関係者と情報共有をはかり、機会を捉えて国や県に要望等を行う」と答弁しました。

12月24日、政府は診療報酬を12年ぶりに引き上げ、

3.09%増となります。ただ現場の実態を伺うと、経営危機から脱するには数年以上かかるだろうとのこと。

### 除排雪の新規・拡充取組は

三浦市議は今冬の除排雪の新規取組と拡充する取組について質問。

市長は「未明や明け方のドカ雪が予想される場合、市から業者に情報提供し実施可能な箇所を実証的に除雪開始時刻を遅らせる」「小友地区では町会自らが除排雪を実施、市は燃料費や機械経費などを支援する」「市民の皆様の協力を得ながらLINEを活用した情報収集を強化」「市直営の除雪隊が早期かつ臨機応変に拡幅除雪や排雪を行う」「問口への寄せ雪対策として学生力を活用したマッチングサイト（昨年11月現在で学生でない方も含め1820名登録）の周知拡大」「ひろさき便利マップの除雪情報を見やすく改善」「持続可能な雪対策に全力で取り組む」と答弁しました。



「第2弾賃上げ支援は市前進。良いです。報告でき嬉しい。三浦市議と話す」

令和8年 3月分 会 計 帳 簿

支出項目	広報費
------	-----

NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品目	支出先		領収番号	支払明細番号
1	3月24日	会派議会報告会 広告料	(株)陸奥新報社	110,000	5	
2	3月24日	会派議会報告会 会場利用料 (弘前市民会館)	(株)ケイミックスパブリックビジネス	5,000	6	
3	3月24日	会派議会報告会 コピーペーパー代	パッケージプラザコバヤシ	1,100	7	
4	3月24日	会派議会報告会 印刷機利用料 (市民参画センター)	弘前市	170	8	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
月 小 計				116,270		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領収書番号	5

2026 年 3 月 31 日締

日本  
共産党弘前市議団 様 登録番号

領 収 書

¥ 110,000 -

但し 広告料として(現金)・小切手・振込・手形・相殺)

上記の金額正に領収致しました。

内 訳

税抜金額 100,000

消費税額等(10%) 10,000



領収日 年 月 日

26. 3. 24

係



係印のないものは無効です

株式会社 陸奥新報社



〒036-8356 青森県弘前市下白銀町2の1

TEL 0172(34)3111

登録番号 T4420001009556

支出目的・内容	会派議会報告会 広告料
備 考	
令和8年3月28日付 陸奥新報 1面	

日本共産党 弘前市議団  
**議会報告会**



千葉 ともき 三浦 とも すとら えりか

ぜひ皆様のご意見もお聞かせください。

日時: 令和8年 **3月30日**(月)

午後1時開場

会場: 弘前市民会館第1、第2会議室

### 領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領収書番号	6
別紙のとおり			
支出目的・内容	会派議会報告会 会場利用料（弘前市民会館）		
備 考			

# 領 収 書

日本共産党弘前市議団

御中

No. 1142

発行日 2026年3月24日

**金額 ￥5,000 (税込)**

うち消費税額(10%) ￥454

但 2026年3月30日の利用料として、上記正に領収いたしました。

内訳は別紙のとおりとなります。

印 収  
紙 入

弘前市民会館

弘前市指定管理者 ひろさきツールズリーググループ

代表団体 株式会社ケイミックスパブリックビジネス

代表取締役 橋本 鉄司

〒036-8356 青森県弘前市下白銀町1-6

TEL:0172-32-3374

登録番号：T9010401130700



別記様式第1号（第6条関係）

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領収書番号	7
別紙のとおり			
支出目的・内容	会派議会報告会 コピーペーパー代		
備 考			

弘前市議会  
日本共産党市議団様

領収証

2026年 3月24日(火)

¥1,100-

現計 ¥1,100-を含まず

仮しユビコーペーパーバーコードとして  
¥1,100-  
(消費税等) ¥100-を含まず



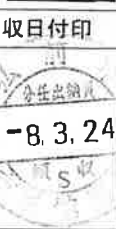
上記正に領収しました(消費税等  
バックケージラザ コバヤシ弘前  
青森県弘前市和徳町52  
0172-32-0241  
登録番号T1-420001009039  
※保管上のお願  
財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

0001-6449-1206

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領収書番号	8
別紙のとおり			
支出目的・内容	会派議会報告会 印刷機利用料（市民参画センター）		
備 考			

令和 07 年度

納入通知書兼領収書 ( <input type="checkbox"/> 官公署払込書兼領収書 )				
弘前市議会日本共産党市議団 様	加入者名	弘前市会計管理者	口座番号 02260-6-961322	
	第 416 号	弘前市議会日本共産党市議団 様		
<p><b>【納入場所】</b></p> <p>1 以下の金融機関は国内に所在する本店・各支店で納付できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)青森みちのく銀行</li> <li>・(株)秋田銀行</li> <li>・青い森信用金庫</li> <li>・東奥信用金庫</li> <li>・青森県信用組合</li> <li>・つがる弘前農業協同組合</li> <li>・津軽みらい農業協同組合</li> <li>・相馬村農業協同組合</li> </ul> <p>2 以下の金融機関は、東北6県に所在する店舗で納付できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北労働金庫</li> <li>・ゆうちょ銀行・郵便局</li> </ul> <p>3 上記以外の納付可能場所は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弘前市役所</li> <li>・岩木総合支所</li> <li>・相馬総合支所</li> <li>・市役所各出張所</li> </ul> <p>※総合行政窓口（ヒロロ内）・市民課 城東分室では納付できません。</p> <p>納付についてご不明な点がある場合は、この納入通知書兼領収書を発行した担当課にお問い合わせください。</p>	納入目的	市民参画センター 印刷機利用料		
	年度	令和 7 年度	会計	一般会計(現年)
	所属	040100	市民協働課	
	款	22	諸収入	
	項	05	雑入	
	目	04	雑入	
	節	07	雑入	
	細節	06	雑入(市民協働課)	
	細々節	09	印刷機利用料(市民参画センター)	
	金額	170 円		
納期限	令和 8年 3月 24日			
<p>上記の金額を弘前市 指定金融機関 収納代理金融機関 出納員に納入してください。</p> <p>令和 8年 3月 24日</p> <p>弘前市長 </p>				
領収書	領収日付印			
上記の金額を領収しました。	 8.3.24 			

青森県弘前市 (納付者保管)

会派日本共産党 弘前市議団

# 議会報告会

◆ この3年間で、弘前市では「18才までの子どもの医療費無償化」、「高齢者補聴器購入費助成事業」、「小中学校の学校給食費無償化」、「小中学校のトイレ洋式化」、「賃上げ応援奨励金」、「国保料引き下げ」など党市議団が市民の暮らしのために求めてきた政策が実現し、市政が前進しました。



千葉こうき市議



三浦こう市議



すとうえりか市議

この3年間、  
選挙で掲げた  
公約実現を軸に  
すえ、市民の暮らし  
第一で頑張っ  
てきました。

日時 3月30日 (月)

午後1時開場

会場 市民会館第1、第2会議室

日本共産党市議団の3名の市議が、議会での質問や実現した政策などをご報告します。  
ぜひ皆様のご意見もお聞かせください。  
皆様にお会いできるのを楽しみにしております。



日本共産党 弘前市議団だより

2026年3月23日 発行: 日本共産党弘前市議団  
住所 弘前市上白銀1-1 電話 0172-88-6551